

## 校外学習でテレビ局の仕事を体験 番組制作の舞台裏とスタッフの情熱に触れる 札幌市立東月寒中学校の1年生が来社

2026年5月29日（金）

5月29日（金）、札幌市立東月寒中学校の1年生が、校外学習の一環としてHTBを訪れました。

最初は、スライドを用いてニュースやバラエティなど多岐にわたる番組制作の現場を紹介。出演者だけでなく、プロデューサーやカメラマン、照明、音声など、画面に映らない多くのスタッフが重要な役割を担っていることを説明しました。仕事の大変さや、番組が完成した時のやりがいといった「スタッフの生の声」を、生徒たちは真剣な表情で聞き入っていました。

スタジオ見学では、東月寒中学校のOBでもある映像コンテンツ部の秦野部長と、同部の浅野副部長が、カメラの操作方法をレクチャー。onちゃんがデザインされたスタジオでキャスター席に座り、出演者の気分も味わいました。副調整室(サブ)では、画面を切り替えるスイッチング操作を体験。また、災害時の緊急放送への備えについても学び、放送局の使命への理解を深めました。

生徒からは「テレビの裏側が見られて楽しかった」「onちゃんの知らない情報を知ることができてよかった」との感想が寄せられ、笑顔あふれる見学となりました。




いろんな事を  
知るのが  
楽しいモン〜



onchan

みんなの力を  
合わせればなんだって  
出来るオン!



onchan